

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 29 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>	
1.	事業名：薬局，医科診療所および町健康センターを起点とする地域住民のための多職種連携による歯科口腔保健推進システム構築のためのパイロット事業
2.	申請者名：公益社団法人香川県歯科医師会 会長 豊嶋 健治
3.	実施組織：公益社団法人香川県歯科医師会 国立大学法人徳島大学歯学部予防歯学分野 まんのう町
4.	事業の概要： 今後の医療と介護は，地域包括ケアシステムの中で多職種連携体制により提供される，住民ニーズに合致した効率的な社会保障サービスが期待されており，周術期口腔機能管理，糖尿病対策，食生活支援などにおける多職種連携への歯科の参画が進展している。住民ニーズへの対応を高めるためには双方向性の連携体制が望まれるが，非歯科医療職側からの歯科保健への参画はほとんどないのが現状である。最近開発された多項目・短時間唾液検査装置（ST）を地域の薬局，医科診療所，町健康センター等に設置することで，測定検査データを薬剤師，医師，看護師，保健師，管理栄養士等から住民に説明し，精密検査を要する該当者へは歯科受診勧奨を行うという，非歯科から歯科に向けての新しい地域保健連携システムの構築を試みる。
5.	事業の内容： 香川県地域医療介護総合確保基金に基づく「口から食べる楽しみ」支援体制整備事業では，医歯薬の連携体制が構築されており，この事業に参加している地域の薬局・医科診療所・健康センター・歯科診療所が本プロジェクトに参加した。最近開発された多項目・短時間唾液検査装置（ST）は，専門的な歯科知識がなくても各医療職であれば容易に測定でき，得られた測定結果に基づいて，それぞれのクライアントの口腔健康管理・指導に関与することが可能となる。本事業では，この唾液検査装置を，地域の薬局，医科診療所，および町健康センターに設置し，薬剤師，医師，保健師等が其々のクライアントの歯科保健管理・指導に使用してもらい，非歯科から歯科に向けての連携システムの構築の可能性と，これに関わる問題点を検討した。
6.	実施後の評価（今後の課題）： 唾液検査装置（ST）を香川県まんのう町薬局，医科診療所，および町健康センターの 3 か所に設置し，薬剤師，医師，保健師を歯科医師等が指導することによって，非歯科医療職による，客観的な唾液検査データに基づいた歯科口腔保健指導を地域住民に提供することが可能となった。実施に当たった非歯科医療職へのヒアリング，および本唾液検査を受診し指導を受けた地域住民に対するアンケート調査から，両者において比較的高い満足度が確認されたが，検査データの説明や検査の実施体制，および歯科医療との連携体制の構築などの点において，改善すべき幾つかの問題点も明らかになった。今後，本年の事業で指摘された問題点の解決を図り，このシステムを定着させ，より広い地域での運用拡大を目指したい。